

第3学年 国語科学習指導路案

教科等	国語科	単元名	本に親しもう	本時	全6時間扱いの3時間目
学級	3年4組	授業者		教室等	3階 3年4組教室

<本時の指導>

<本時のねらい> 自分の考えを伝え、友達の考えと似ている点や違う点を見付けることができる。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>
導入	<p>1. めあてを確認し、学習の見直しをもつ。【発見】 T:今日は、紹介したい本の面白いところや好きなところを友達に伝え合う活動をします。初めに、話し合いの動画を見ましょう。</p> <p>□揭示物やノートを使ってこれまでの学習を振り返り、本時の課題と結び付けるようにする。 □動画を見て、どのようなことに気を付けて話すか、どのポイントをおさえる。 ※視覚化</p>
展開	<p>2. ノートに書いた自分の考えを友達に伝え、互いの意見の共通点や相違点に着目して、本の面白いところを見直す。【対話】 T:これから、ノートに書いた自分の考えを、違う本を選んだグループへ説明して、話し合いをします。自分の考えと理由を伝え、友達の考えと比べたり、分からないことがあったら質問したりしながら話し合ひましょう。 (話し合い3分) 相手を変えて2回行う。</p> <p>3. 話し合って気付いたことを全体で交流する。【対話】 T:今の話し合いを振り返りましょう。気付いたことや、感じたことを聞かせてください。 C:同じ場面が面白いと言ってもらえて嬉しかった。 C:違う考えを聞くことができて参考になった。 C:一年生が喜びそうな場面が他にも見付かった。</p> <p>4. 紹介しに行く児童を変えてもう一度話し合う。【対話】 T:友達の考えと似ている点や、違う点を見付けながら話し合ひができていますね。今日のめあてを意識して、もう一度話し合ひましょう。【対話】 (話し合い3分) 相手を変えて2回行う。</p> <p>○話題設定の工夫 本時は本の面白いさが伝わるように、おすすめするポイントを話し合う。話し合う内容を絞ることで、考えが整理しやすくなり活発に交流できる。※焦点化</p> <p>○交流の目的と視点の明確化 「自分の考えを、友達に納得してもらえように話す」という目的と、「自分の考えと似ている点や違う点を見付けて考える」という視点を与える。 ※焦点化</p> <p>○話し合いの話し型の提示 話し合いの話し型「友達の考えを受け止めよう」「友達の考えのよいところを伝えよう」「詳しく知りたいことを質問しよう」を示す。 ※視覚化</p> <p>☆自分の考えを伝え、友達の考えと似ている点や違う点を見付けている。 (発言、観察)</p>
終末	<p>5. 本時の振り返りをして、次時の学習を確認する。</p> <p>□児童の発言を価値付け、次時への意欲をもたせる。</p>

【板書計画】

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

選んだ本の面白いと思った部分の中で、どの内容を紹介するのかということを決める。自分たちが決めた本を1年生に紹介することで、本単元への興味・関心を高めていけると考えた。また、自分達の読書経験を活かして本を紹介することによって、自分の考えをもちやすくなると思った。

話し合いの話し型の提示

話し合いの話し型「友達の考えを受け止めよう」「友達の考えのよいところを伝えよう」「詳しく知りたいところを質問しよう」「考えを付け足して、広げよう」を提示することで、自分の考えとの共通点や相違点に気づき、より考えを深めていくことができるようにする。

(2) 「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

興味のある本が同じ児童を2つに分けてグルーピングし、ワールドカフェ形式の交流活動の場面を設定する。また、1グループの構成人数を少なくすることで、一人の発言回数や友達の発言を受け止める回数を増やしていく。

交流の目的と視点の明確化

「1年生に紹介する本の面白いところを決めるため」という目的と、「自分の考えと同じところと違うところはどこか」「1年生が『面白い』と思ってくれる内容はどれか」という視点を与えることで、より児童が、話の中心を捉えながら話し合いができるようにする。